

今を生きようみんな OK!

行く年を振り返り 助け合い 永野亜由美さん



昨年は結婚という人生のキーポイントとなる出来事があり、準備作業や新生活に追われる日々の忙しさでした。仕事もなにかと担当が増え、朝5時まで残業することもありました。家事と仕事の両立が難しく感じながらも、主人が家事を手伝ってくれたり、同僚からは飲み物をくれて励ましてくれたり「助け合い」というあたたかさに感謝を覚えた1年でもありました。仕事で辛く感じる時もありますが、中学時代の登校拒否で悩んでいたころと比べると、昔のほうが遥かに辛かったです。これから私、どうなるんだろうと彷徨っていたあの時。滝田先生に出会う前のあの日々と比べると、今は断然に幸せです。あの時、チェンジすることができて良かったとつくづく思います。最後に、冒頭に触れました「助け合い」という言葉。人生において人とのふれあい、助け合いは本当に大切だと思います。子ども若者応援団においても、私に御手伝いできること、何か手助けできること等ありましたら、いつでも協力させていただきます。(応援団広報担当)

年の初めに思う 明日から実践できる支援 新舛秀浩さん



3月4日“自分ごと講座”は林恭子氏講演「ひきこもり解決への道～ひきこもり経験者林恭子氏が語る親・支援者に言いたいこと～(仮題)」を予定しています。林さんは不登校、ひきこもり経験者で、現在「ひきこもりUX会議」代表理事を務めています。「ひきこもりの人たちが幸せになるのが目的なのに、親御さんの気持ちには不登校なら、『学校復帰』、ひきこもりなら『どこかに就職』という声が大きく、そういった価値観に当事者たちは苦しい思いをしている。」と考える人です。親と当事者の気持ちを講演会で取り上げ「当事者、経験者目線で親や支援者にどうしてほしいのかを、親と支援者に焦点を絞ってお話してもらえればと考えます。「そうあればいい」で終わらず、明日から実践できることを話してもらいたいと思います。(“すぐそこにあること”筆者)

社会参加を再考する ご縁と繋がり 川辺順子さん

川辺悟史さん撮影



2ヶ月ぶりに応援団会議に参加できて、お仲間にお会いできてとても嬉しかったです。ご縁をいただいてから、今年も会議やイベントを通じて多くの方々と繋がらせていただいて感謝しています。様々なお立場や状況、そして悩みに至るまでそれぞれですが、解決ということではなく、ご縁をいただいたお一人お一人から、自分自身の考え方や価値観に大きく影響をいただいたことは、確かです。(veteranママ)

生きること 心が繋がるっていいね! これまでも、そしてこれからも 安川有里さん(元県議)

コラム風 会員・書道家長谷川ひろみさんの書「絆」の応援団会議での思いが胸に響き、

巻頭メッセージ「人との出会い,ご縁,つながり,助け合い」に共鳴、今年はジュネーブへ🌀ございます。10月岩室紳也 Dr 講演会「人と人の関係が居場所」が腑に落ちます。居場所は人の数だけあるのですね。クリスマスの朝日新聞社会面“過労死ない社会を誓う 電通・高橋まつりさん2度目命日霊堂に安置 続く悲しみ” 産業殉職者合祀慰霊式(厚生労働省)が「高尾みころも霊堂」で10月11日に行われ1947年以降「産業殉職者」257,898 人と報道。今年は高橋まつりさんを含む 3,135 人を安置、労働組合は今? 無念(合掌)。

同紙で大阪2件報道。「父親死亡し母重傷,殺人未遂容疑無職23歳息子逮捕」「92歳父親殺人未遂容疑逮捕,無職65歳息子をハンマーで殴り死亡」。全殺人事件の過半数は家族親族によるもの、“ねばならない”道徳観と世間体が暴力へ追い込む現実。“命”“生きること”“社会参加”が希望、仕事とお金で若者や親子が追い詰められる今(合掌)。

♪私たちの望むものは生きる苦しみではなく 私たちが望むものは生きる喜びなのだ♪ '60年代の岡林信康さんの歌を口ずさむ僕だった。今年も子ども若者に学ぶ1年へ(滝田衛)

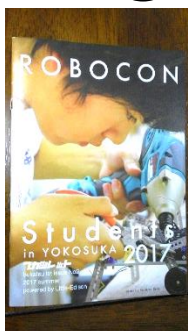
それぞれの風 Web版:湘南リビング新聞社引用 地域特派員マリンさん 12/25

ちょっと話しに来ませんか? 鎌倉のフリースクール Largo(ラルゴ)

子どもと大人の秘密基地! ? 白木の柔らかな空間で自由にすごそう

ファシリテーターの滝田さんを交えて運営スタッフさん企画の女子会が開催されました。ホームページにある「子育ての悩みを話してみよう」と女子会に初参加の方々の話に耳を傾け、少し恥ずかしいけど自分の思いを話してみたり。

子どもたちが泥をこねて塗った竹小舞の土壁、和カフェみたいで良い雰囲気♪ スタッフの方々は子育てには人並み以上に大変な、中には壮絶とも思えるお子さんの不登校や反抗期を経験され、話してくれる体験談やアドバイスは、心にすっと入ってくるものでした。元教師であり長く不登校の子どもの支援に携わっている滝田さんが、出席者の悩みにそれぞれお話をくださり、わかりやすく心が納得しやすく、とてもありがたかったです。スタッフの思いとして一つだけ共通していたのは、どんなことがあっても我が子の味方、ということ。もちろん最初に不登校という壁にぶつかった時、面倒だとか、引きずっても学校に戻したいと考えたそうです。今私はその考えで、自分と子どもの世間体のために子どもを責めてしまう気がします。でも子どもと向き合い子どもにとって楽しく輝ける生き方を一緒に模索するスタッフのみんなを見て、子どもの気持ちに寄り添うことを忘れてはいけないと実感しました。



龍崎明信(応援団)+遠藤企画編集ブックレット ROBOCON 発行 横須賀市開催の第14回中学生ロボットコンテスト紹介写真集第2集です。横須賀市及び逗子・鎌倉市に配布予定。ご一読を。

1月予定 11日(木)鎌倉市いじめ問題対策協議会、**21日(日)14時~**

応援団会議 in 逗子市市民交流センター、27日(土)14時~小田原市不登校講演会「進路を拓く~自分らしい生き方を求めて~」、30日(火)横須賀市支援教育委員会 ◎深沢 Largo 9日(火)会議,11日(木)女子会,

20日(土)男子会,25日(木)フリースペース ◎鎌倉市相談センター 10日(水),16日(火)大船小,17日(水),23日(火)富士塚小,24日(水),30日(火),31日(水)

住所:鎌倉市七里ヶ浜東 2-31-12 連絡先:090-7212-4055

メール: qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp 発行編集責任者:滝田衛